

建築の歴史的価値学ぶ

日福大生 半田赤レンガ建物見学

半田赤レンガ建物(半田市榎下町)で6日、日本福祉大で建築を学ぶ2年生約30人が見学に訪れ、建物の

の見学を行っている。

冒頭、一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田の理事長

が、カプトビールの工場として発足した建物の歴史を解説。明治建築界の巨匠の一人、妻木頼黄が設計を手がけた点や、「複壁」と呼ばれる断熱構造を取り入れてビールを適温に保つ工夫がなされていた点について紹介した。

続いて、学生は建物内部を見て回った。断熱として機能した分厚い壁を間近で見学したほか、レンガの建造には強度が高いとされる「イギリス積み」が採用されていることなどを、パネル展示で学んだ。屋外に出て、戦時下に米軍から受けた機銃掃射の跡も目にした。

村田壮駿さん(20)は「建物の構造が当時のまま残っていることが印象的だった。(建物があることが)PRとして大事なのは」と語った。(山岸弓華)

理事長から説明を受けながら、外壁に残る機銃掃射の跡を見学する学生ら＝半田市榎下町で

